

: 1.24). 11 節は細長く、第 10 節の 1.54 倍に等しい。前胸背板は丸みを帯びた台形状で長さは基部幅の 0.8 倍に等しい。前縁は狭く縁取られる。背面は強く膨隆し、表面は頭部同様の点刻で被われるが、両側部では粗雑になる。中央基部はわずかに凹み、その中に 1 本の浅い縦溝をもつ。後角は横から見ると、幅広く、先端は鈍く尖り、先端角はおよそ 65 度 (Fig. 10)。小楯板は舌状で、強く膨隆し、やや粗雑に点刻される。上翅側縁は平行状で、基部のおよそ 2.5 倍に等しい。条線は第 1 条は翅端まで明瞭だが、2-5 条は基部にのみ認められる。表面は小さな点刻を散布するが、基部ではやや密生する。前胸腹板は小さいが明瞭な点刻で被われ、点刻間は光沢を放つ。前胸前側板はやや痘痕状に点刻されるが、触角溝では無点刻で表面は滑らかとなる。中胸前側板は弱く膨隆し、前縁部ではやや粗雑に点刻されるが、中央部では点刻を欠き、後半部では円形の点刻を疎らに被う。後胸腹板は点刻で密に被われ、やや粗雑となる。腹部第 7 節の後半部分は、小さな刺状突起を密に備える。

検視標本。2♀♀、台湾省台東県知本国家森林遊楽区 [Chihpen National Forest Recreation Area], 25. X. 2012, Malaise trap, 謝瑞帆採集。

分布。台湾。

Muona (1991) は、*Bothrion* 属群の分布と系統の分岐図中で、本種の分布について、台湾については触れず、NG [= New Guinea] だけを分布に挙げている。本種がニューギニアから記録された例がこれまでにないことから、台湾とすべきところを誤って "NG" としてしまったものと思われる。

備考。原記載に用いられた個体は、体長が 7-8.5mm と今回検することができた個体よりも小型であること、触角はより長く、体の半分まで届くなどの違いが認められた。原記載では性別については触れられていないが、触角の長さが今回の

雌に比べ長いことを考えると、原記載に使われた標本は雄である可能性が高いと思われる。

本種は、同属の他種とは、胸部が赤みを帯びた黒色であること、上翅は黒色で、条線が基部を除き不明瞭であること、触角は雌雄共に先端節が前胸後角を越えること等の特徴を持つことによって、識別することができる。

引用文献

- Cobos, A., 1986. The Noona Dan Expedition, 1961-1962. Coleoptera: Throscidae y Eucnemidae. Eos, [1985] 61: 13-67.
- Fleutiaux, E., 1899. Eucnémides et Elatérides récoltés à l'île Nias par M. U. Raap en 1897 et 1898. Annali del Museo Civico di Storia Naturale di Genova, 39: 569-572.
- Fleutiaux, E., 1921a. Études sur les Melasidae (Coleoptera-Serricornia), 2. Annales de la Société Entomologique de Belgique, 61: 23-41.
- Fleutiaux, E., 1921b. Études sur les Melasidae (Coleoptera-Serricornia), 3. Annales de la Société Entomologique de Belgique, 61: 68-87.
- Fleutiaux, E., 1922. Trois Melasidae nouveaux (Col.). Bulletin de la Societe entomologique de France, 1922: 148-150.
- Fleutiaux, E., 1929. Melasidae nouveaux (Col.). Bulletin de la Societe entomologique de France, 1929: 206-209.
- Miwa, Y., 1931. A systematic catalogue of Formosan Coleoptera. Report of the Department of Agriculture Government Research Institute Formosa, (55): xi+ii+359 pp.
- Muona, J., 1987. The generic names of the beetle family Eucnemidae (Coleoptera). Entomologica Scandinavica, 18: 79-92.
- Muona, J., 1991. The Eucnemidae of South-East Asia and the Western Pacific — a biogeographical study. Australian Systematic Botany, 4: 165-182.
- Muona, J., 1993. Review of the phylogeny, classification and biology of the family Eucnemidae (Coleoptera). Entomologica Scandinavica, Supplement, (44): 1-133.
- Muona, J., 2007. Family Eucnemidae. In: I. Löbl and A. Smetana (eds.), Catalogue of Palaearctic Coleoptera, 4: 81-87. Apollo Books, Stenstrup.
- Schenkling, E., 1928. Melasidae. Pars. 96. In: Schenkling, S. (ed.): Coleopterorum Catalogus. Berlin: W. Junk. 110 pp.

(2014 年 2 月 5 日受領, 2014 年 5 月 20 日受理)

【短報】久米島未記録のコメツキムシ2種

沖縄県久米島のコメツキムシは、これまでに 26 種 (種名未確定種 *Quasimus* sp. を 2 種含む) が知られている (鈴木・乙部, 2013)。筆者は、久米島から記録のなかった 2 種のコメツキムシを報告する。

1. シバタチャイロコメツキ *Haterumelater bicarinatus shibatai* Ôhira, 1968

1♂, 沖縄県久米島仲里村儀間, 29. VIII. 1995, S. Inada leg.

分布: 中之島, 悪石島, 奄美大島, 徳之島, 沖縄島, 伊平屋島, 久米島, 石垣島, 西表島, 与那国島。

2. マトバウスカバイロコメツキ *Chatanayus insularis isaoi* (Kishii, 1973)

2♀♀, 沖縄県久米島仲里村儀間, 29. VIII. 1995, S. Inada leg.

分布: 奄美大島, 沖縄本島, 久米島。

引用文献

- 鈴木 互・乙部 宏, 2013. 久米島から採集された興味あるコメツキムシについて. さやばねニューシリーズ, (10): 5-12.

(鈴木 互 法政大学第二高等学校生物科)